

Rimse 理事長賞

パスカルの三角形とフィボナッチ的数列を作り出すカードゲームに関する研究

兵庫県 関西学院高等部 2年 鈴木 翔大, 北川 将

講 評

パスカルとフェルマーは 17 世紀に、あるギャンブルゲームに関する問題について 23 通の手紙を交わし、二項係数のいろいろな性質、確率論への応用を調べ、これが近代確率論の創始となりました。本研究もゲームとしてのロシアルーレットとその一般化に関することから数理の問題を見だし、数々の数学的に面白く新しい結果を導き出しています。また、すでに国際学会での研究発表も行なっていて、Rimse 理事長賞にふさわしい研究といえます。

中央審査委員会